

1868  2018

肥前さが幕末維新博覧会

佐賀さいごう博

150th ANNIVERSARY

2018 3.17  - 2019 1.14 

開拓判官 島義勇



北へ南へ、  
佐賀人が  
道を拓いた

志

特別展

肥前さが幕末維新の「志」

2018 2019  
11/1 [木] → 1/14 [月・祝] 9:30 - 18:00 open

佐賀県立佐賀城本丸歴史館  
外御書院・御小書院(特別展示室)

観覧無料

(募金の御協力をお願いしています)

主催: 佐賀県立佐賀城本丸歴史館  
特別協力: 第11代齋藤用之助顕彰会  
北海道神宮・開拓判官島義勇顕彰会

島尻郡長  
第十一代齋藤用之助





「北海道」の名付け親  
松浦武四郎が描いた  
アイヌの人々

島義勇自筆の  
蝦夷地探検記



# 北へ南へ、 佐賀人が 道を拓いた 志

## 第十一代齋藤用之助 SAITO YONOSUKE

11代齋藤用之助(1859~1933)は、鍋島直彬の初代沖縄県令就任に際して沖縄に渡り、巡査として勤務した。その後、県吏に職種転換し那覇区長を9年間、島尻郡長を16年間務め、港の開削や鉄道敷設、製糖業の振興などに尽力した。なかでも、明治36(1903)年に大噴火した硫黄島から全島民を無事に久米島へ避難・移住させたことは特筆すべき業績と言える。大正4(1915)年に用之助が郡長を離任する際には、1万人余の郡民が集まり盛大な送別会が開催された。現在でも、久米島宇島島地区では毎年2月11日の移住記念日に式典が催され「神様」のように慕われている。

### 島義勇

### SHIMA YOSHITAKE

島義勇(1822~1874)は、安政3(1856)年から翌年にかけて10代佐賀藩主鍋島直正の命により蝦夷地・樺太を調査した経歴が基となり、明治2(1869)年、開拓判官に就任した。北海道の本府として札幌の地を選定し、「五洲第一の都」を造るという志のもと建設に着手した。その志半ばで東京に召還されてしまうが、島が描いた都市計画に基づき札幌は形作られていった。大都市札幌の基礎は島が築いたと言える。札幌では現在でも「判官さま」と愛称され、毎年4月には北海道神宮で島義勇顕彰祭が行われている。

左:北海道人松浦多気志様詩画 ※12月14日まで展示  
右:入北記 雨 ※11月18日まで展示  
(いずれも北海道大学附属図書館蔵)

那覇港の整備に尽力



島尻郡長の  
退官辞令は  
大隈重信首相から



左:島尻郡長退官辞令 右:沖縄県那覇湊之図(いずれも沖縄県立博物館・美術館蔵)

11/18  
[日]

「志」展 スペシャルトークイベント

### 齋藤孝先生スペシャルトーク

事前申込制  
(抽選)

ベストセラーシリーズを数多く出版され、TV等のメディアでも御活躍の齋藤孝先生に、幕末維新期の佐賀藩の「志」を現代そして未来に活かすヒントについてお話いただきます。

※開催時間や申込方法等の詳細は10/18(木)にホームページで公開予定です。



特別展記念講演会

11/11[日] 「札幌をつくり、見守る島義勇」  
14:00-15:30 講師:榎本洋介氏(札幌市公文書館職員)

11/17[土] 「第11代齋藤用之助の生きた時代と沖縄」  
13:30-15:00 講師:萩尾俊章氏(沖縄県立博物館・美術館主任学芸員)

12/1[土] 「幕末維新期の蝦夷地・北海道と札幌-島判官の来た頃-」  
13:30-15:00 講師:谷本晃久氏(北海道大学大学院文学研究科教授)

12/15[土] 「11代が見つない我が島」  
13:30-15:00 講師:仲宗根弘之氏(久米島町宇島島区長)



さがのれきしを、あそんでまなぼう!

## 佐賀の歴史を遊んで学ぼう!

佐賀の歴史を遊んで学べる

体験型アミューズメントスペース「こどもいしんラボ」が

「志」展バージョンにリニューアル!

イベントやワークショップなど楽しみながら学べる仕掛けが盛りだくさん!

東芝グループのアンドロイド地平(ちひら)アイこさんが「志」展に合わせた衣装とトークでお出迎え。どんな衣装で登場するかは当日のお楽しみ!



こどもいしん  
ワークショップ



11/24[土] 11/25[日] 12/1[土] 12/2[日]

「志」展のテーマである北海道・沖縄の伝統や文化を楽しみながら学べるワークショップを開催!



佐賀城本丸  
こどもガイド体験



12/9[日] 12/16[日]

佐賀城本丸歴史館で子どもガイドデビュー!  
佐賀の偉人たちの「志」を学んで伝えよう!